

学習・教育到達目標とJABEE基準項目の対応

◎：特に関連の深い項目，○：関連の深い項目

JABEEの基準項目 建築学科の学習・教育到達目標		a	b	c	d																e	f	g	h	i		
					(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)							
		地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	技術が社会や自然に及ぼす影響として負っている責任に関する理解	数学及び自然科学に関する知識とそれらを用いる能力	力える建築設計・計画の要求に美観上、及び技術上の諸要求に適合する適切な知識	建築の歴史と理論、及び関連する芸術、工学及び人文科学に関する適切な知識	建築の設計・計画の質を高める美術的知識	都市の設計・計画及びそのプロセスに関する適切な知識と技術	人と建物の関係、建物と周辺環境の関係、及び、建物と人間の空間の関係を理解し、必要に応じて空間を人間に活用するための適切な知識	建築の機能、建築家の社会的使命、特に社会的要因を考慮したプログラミングの理由を理解	調査方法及びプロジェクトのプログラムミソの理解	建築の設計・計画に伴う構造設計技術の理解	建築の設計・計画に伴う環境性能、技術に関する適切な知識	快適で安全な室内環境を得るための建物性能、技術に関する適切な知識	関連する予算や法的制約のもとに必要となる設計・計画の技術	手続に関する適切な知識	統合的な設計・計画を進めるための、関連産業、組織、法令、手続に関する適切な知識	環境、社会、文化、都市、建築、環境、建築遺産などの価値に対する責任の認識	環境の保全と修復、及び生態学的に持続可能な設計・計画の方法に関する適切な知識	建築施工原理の包括的理解に基づく建築構法に関する能力の研究	事業企画、プロジェクトマネジメント、コスト管理など事業遂行に関する適切な知識	学生・教員双方のための学習・教育・研究方法の研鑽	種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	自主的、継続的に学習する能力	与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	チームで仕事をするための能力
A 1	地球的な視野を養い、地域的・歴史的・人間的に多様な価値観があることを理解できる	◎														◎	◎										
A 2	社会的正義や良識をふまえ、多様な価値観の中でどのようにすれば良いのかを判断できる		◎			○				○						◎											
A 3	事象を抽象化し数学のおよび論理的に理解できる			◎																							
A 4	情報の収集や問題の解決にコンピューターを利用できる			◎																							
A 5	自分で考え、まとめ、コミュニケーションできる能力を身に付ける																						◎				
A 6	チームの一員として責任と協調性を持って行動できる																						○		○	◎	
B 1	各種の建築を計画する上で必要な理論や技法を理解できる				◎				◎	◎	◎						◎										
B 2	建築群としての都市を計画する上で必要な理論や技法を理解できる						◎	◎								◎		◎									
B 3	建築構造の外力と応力の関係及び応力と変形の基本的な関係が理解できる			◎							◎																
B 4	各種構造システムを理解し、力学と構造設計の基礎的な関係が理解できる			◎							◎																
B 5	建築物がどのような材料から構成されているかを理解できる																◎	◎									
B 6	建築物の企画、生産、供用、廃棄といったそれぞれの工程と問題点を理解できる										◎		◎	◎				◎	◎								
B 7	建築環境で生じる現象の基本原理解を理解し、安全で快適な建築環境を考えることができる											◎					◎										
B 8	建築設備の基本的な仕組みを知り、エネルギー消費と環境への影響を理解できる											◎					◎										
B 9	建築に求められている内容を理解し、建築空間として構想できる			◎	○	○		◎		◎										◎	◎			◎			
B 10	構想された建築を正しく図面化しプレゼンテーションできる			◎				◎		◎										◎	◎		◎	◎			
B 11	現代社会における建築的な重要課題について理解できる	○			◎				◎					◎		◎	◎		◎		◎						
B 12	近現代の建築史と、それが現在の建築デザインにどのような影響を与えているかを理解できる	○			◎	◎																					
B 13	建築の基本的な構成を理解し、多くの専門技術から構築されていることを理解できる			○														◎									
B 14	災害に対する備えや法による秩序が建築および生活空間を保護していることを理解できる											◎	◎	◎													
C 1	専門性の高い建築学に関する知識・技術を理解できる（選択科目）			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
C 2	専門性の高い建築学に関する知識・技術を理解できる（卒業研究）																		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	

学習・教育 到達目標			授 業 の 開 講 年 次							
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期
A 共通基礎目標	(A 1)		全学共通教育科目24単位以上			建築と社会 A	建築と社会 B			
			建築史 A							
	(A 2)		建築計画 A 建築史 A	建築生産概論	構造設計 A 建築設備 A 都市計画					
	(A 3)	建築数理	工学部共通 6 単位以上							
	(A 4)	情報スキル入門	建築CAD演習 情報スキル活用							
	(A 5)	外国語 4 単位以上（英語 2 単位以上必修）								
		スタートアップセミナー		建築デザイン I						
(A 6)					建築施工計画 建築工学演習	建築・都市計画演習 建築環境システム演習 構造計画演習 建築材料演習				
B 専門の共通基礎目標	計 画	(B 1)		建築計画 A	建築計画 B					
		(B 2)				都市計画				
	構 造	(B 3)		構造力学 I	構造力学 II					
		(B 4)				構造設計 A 構造力学演習				
	材 料	(B 5)	建築構法 I			建築材料 I				
		(B 6)			建築生産概論		建築施工計画			
	環 境	(B 7)		建築環境工学 A	建築環境工学 B					
		(B 8)				建築設備 A				
	デ ザ イ ン	(B 9)			建築デザイン I	建築デザイン II	建築デザイン III			
		(B 10)	基礎製図 A	建築デザイン基礎 基礎製図 B 建築CAD演習						
	社 会	(B 11)					建築と社会 A	建築と社会 B		
		(B 12)		建築史 A			建築工学演習			
	一 般	(B 13)	建築学入門 建築構法 I				建築防災			
		(B 14)			建築法規		建築防災			

学習・教育到達目標		授 業 の 開 講 年 次							
		1 年		2 年		3 年		4 年	
		春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期
C 専門 のより 高度な 目標	(C 1)		建築構法Ⅱ	建築史B	建築史C	建築計画C 建築設備B 構造力学Ⅲ 構造設計B 構造設計C 建築材料Ⅱ 地域住宅計画 ゼミナールA	建築・都市計画演習 建築環境システム演習 構造計画演習 建築材料演習 建築デザインⅣ 建築施工管理 ゼミナールB		
		建築自主活動A，建築自主活動B							
	(C 2)							卒業研究	卒業研究

必修科目 選択必修科目 選択科目

目標達成の基準：全ての学習・教育到達目標を達成すること。各学習・教育到達目標は，上表の各学習・教育到達目標に対応する科目（群）の全ての必修科目を単位取得することで達成される。ただし，C 1については，指定された選択必修科目の単位取得を以て目標達成となる。また，A 6については，必修科目に加えて指定された選択必修科目の単位取得を以て目標達成となる。

総合評価の方法：「学習・教育到達目標の総数」に対する「達成した学習・教育到達目標数」を確認することで，総合的な評価を行う。